

議会だよりは、ふじみ野市の  
ホームページからも閲覧できます  
市議会の議事録も見られます  
<http://www.city.fujimino.saitama.jp/>

ふじみ野市議会 をクリック

## 議会日誌

9月

2日 平成22年第3回定例会（～21日）・議会  
広報常任委員会

10月

5日 議会広報常任委員会  
7日 全国都市問題会議（～8日）  
13日 議会広報常任委員会

11月

19日 告示  
24日 議会運営委員会  
29日 平成22年第4回定例会（予定）

次の定例会の予定は

**11月29日～**です

第4回定例会における**請願締切**は、  
**11月19日午前10時**です。

**傍聴をお待ちしています**

## 編集後記

今、全国各地で地方議会のあり方が問われています。名古屋市や阿久根市のように議会と首長とが激しく対立している報道には驚きと共に、市政運営の停滞と不安を感じます。片や国政においては総務大臣に分権推進派の前鳥取県知事を起用するなど、地方分権は加速度的に進む様相。議会の役割は益々重要で、本議会では議員定数の削減も可決され、そうした中で「議会改革」の議論がされました。削減有りや否やは別として、議会改革の必要性については意見の一致は見られたものと感じます。こうした議会だよりの編集内容も含めて、議会のあり方を捉え直し、議員活動が明確になるような取り組みの必要性があるようです。（飯沼）

### 議会広報常任委員会

委員長	前原かづえ	副委員長	飯沼潤子
委員	大築守	委員	伊藤美枝子
委員	堀口修一	委員	松尾勝一
委員	小川愛子	委員	鈴木実

## 条例

### ■議員定数削減条例

可決

#### 定数と議会改革をめぐって議論

議員提案の、市議会議員定数条例の一部を改正する条例の審議が、最終日に多くの傍聴者が来場する中行われた。内容は、定数を現行の26人から23人への削減案。審議の途中、定数21人とする修正動議が出され、審議の結果、修正案が可決同数（賛成12人、反対12人）議長裁決により可決された。

原案の提案理由は、削減の請願に多くの署名があったこと、23人にした場合、近隣類似市と議会費の歳出に占める割合が概ね同じであること。

対して修正案の提案理由は、21人でも議会運営は可能であり、議員の資質を高める事を重視すべきと説明。

一方、多種多様な要望を反映させるには、定数は削減すべきではないという反対意見もあった。

なお、開かれた議会として、土日、夜間の議会開催、議会の放映など実施して、市民に分かりやすい議会にすべきであるという意見も出された。

可決された議員定数を21人とする条例は、次回の一般選挙から適用される。

## 意見書

### ■子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書

全員賛成で可決

居住地により接種機会の格差が生じる事のないよう公費助成を求めたもの。

### ■地上デジタル化の円滑な移行策を求める意見書

賛成多数で可決

普及率の低い地域への啓発活動や相談窓口設置、対応が遅れる場合はアナログ波の送信延長等を求めたもの。

### ■国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

賛成多数で可決

国保を社会保障として存続させるために国の財源措置を求めたもの。

市議会議員の時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。